

30 ヨハネ 9 章 35-10 章 6 節

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

※今日の箇所は、証しをしたことで、外に出された元盲目だった人にイエス様から近づかれ、ご自分を現わされたことから記されています。そして言われるのです「わたしは裁きのためにこの世に来ました」と。…イエス様が来られたのは「救いのため」だったのでは？と思われるかもしれませんが、ただ「救われる」ことを喜び感謝するか、それを喜ばない、疑い、ねたむか…ということが今でも起こっている現実があります（この盲人の癒しで起きたことはまさしくそのことでした）、イエス・キリストをどう見るか、どう判断するかで人は右と左に分けられるようになるのです。ですから「わたしは裁きのために世の世に来ました」ということは真実なのです。さて、私たちはイエス様をどう見ているかな？またその声を聞き分けられるかな？（ヨハネ 3:17-21）

2、イエス様は元盲目だった人を見つけ声を掛けました「あなたは人の子を信じますか」と…彼は見えていなかったのので、イエス様がその人だと知らなかったのです。分かったとたん、彼は「主よ、信じます」と言ってイエス様を「礼拝した」とあります。イエス様はそれを受けられました。さて、ここで言われた「あなたは人の子を信じますか」をほかの表現で言い表すことは出来ないでしょうか？

・イエス様を信じることによって受けるもの

ヨハネ 1:12, 3:16, Iヨハネ 5:10-13

3、イエス様は「わたしは裁きのためにこの世に来ました」と言い、そのことによってどうなるためと言われましたか？（39）

①

これは元盲目だった方によって実現しました。（私たちも同じです）

②

これは誰のことを表しているのですか？

※ここで言われたイエス様の言葉「もしあなた方が盲目であったら、あなたがたに罪はなかったでしょう。しかし、今、『私たちは見える』と言っているのですから、あなた方の罪は残ります。」の意味をディスカッションしてみましょう。

※ここに「霊的な盲目」という現実があるのです。

4、イエス様の語られた羊と羊飼いのたとえ話。これから言うとイエス様は塀を乗り越えたのでなく、門から入られたということですが、どのように門から入られたということが言えるのでしょうか？

・羊たちは、その声を知っているから、聞き分け、羊飼いの後をついて行くとあります。どうして知っていると、聞き分けるということがありえるのでしょうか？ディスカッションしてみましょう。

5、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？